

恵庭市総合戦略・人口ビジョン 概要

期間：平成27（2015）年度～
平成31（2019）年度

総合戦略は、恵庭市が次世代に向けて更なる発展を遂げ、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちをつくり、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性を確保するため、短・中期的に取り組むべき施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

4つの重点的に取り組む方向性

人がつながり
人口減少に負けない
魅力あるまちづくり

安全安心に
住み続けたいくなる
まちづくり

恵庭らしさを
活かした
魅力あるまちづくり

希望を持って
子育てしたいくなる
まちづくり

具体的施策の分類

- 多世代交流の推進
- 広域化による機能維持・増進
- 駅周辺の賑わいづくり
- 公共施設マネジメント
- PFI・PPPの推進
- 暮らしの情報共有
- 住宅政策の推進
- 健康・長寿の推進
- 防災拠点の整備

- 地域資源活用観光振興
- 地域産業活性化
- 産業連関表を活用した地域経済活性化
- 地域エネルギー有効活用
- 就労促進
- 中小企業支援・起業家支援
- 移住定住促進
- 高等教育機関等と連携した若者定着と知の拠点づくり

- 少子化対策推進
- 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- 教育環境の充実、学力向上

事業の展開の方向性

- ①若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策
- ②交流人口増による幅広い地域産業活性化
- ③「結婚出産から定住まで」切れ目のない支援

施策の柱

～恵庭ではこんな暮らしができる～
（仮）ライフスタイルの提供

数値目標

転入人口
純移動数
624人
（H27～H31累計）

交流人口
観光入込客数
1,460,000人
（H31）

就業人口
女性・若年者就業率
H27国勢調査対比
上昇（H32国勢調査）

出生率
合計特殊出生率
1.41
（H31）

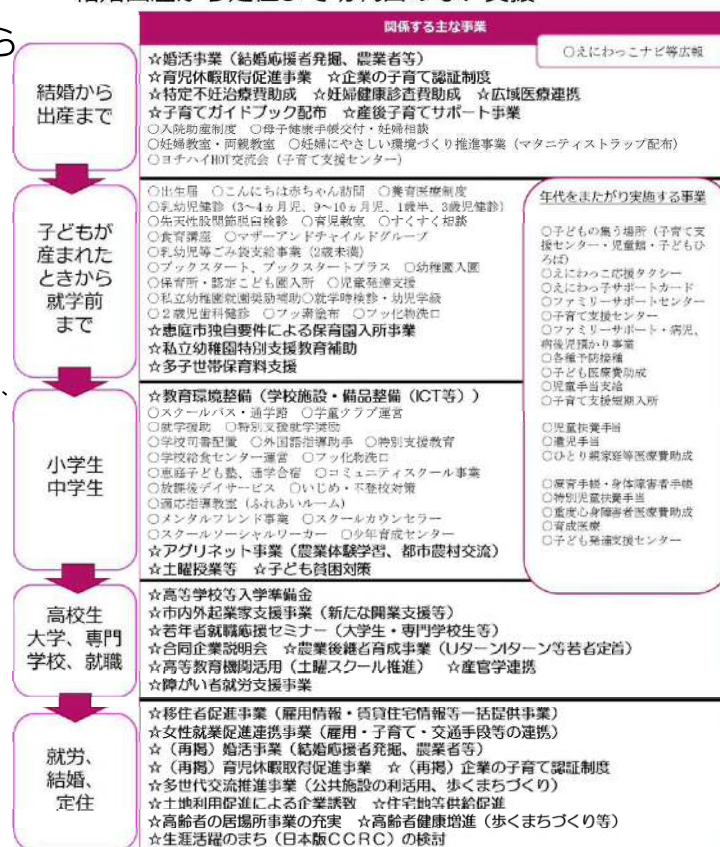
恵庭市
企画振興部
企画・広報課
TEL0123-33-3131
内線2344

（3）

結婚出産から
定住までの
切れ目の
ない支援

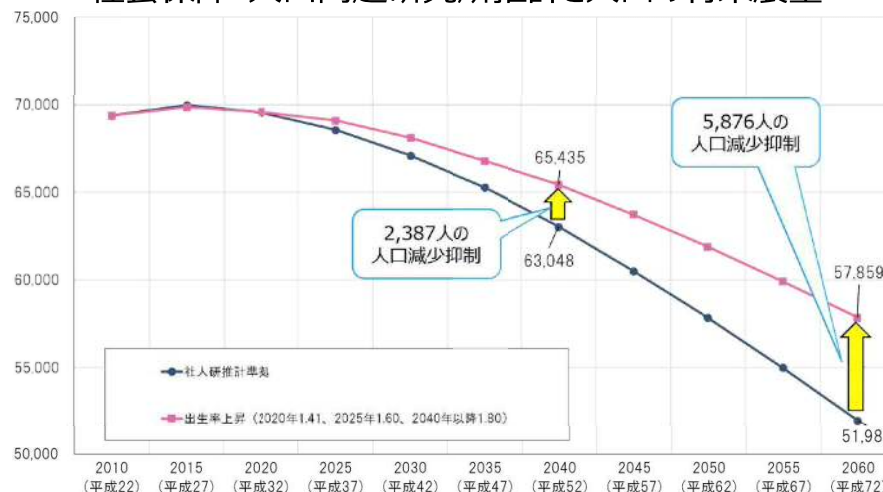
年代別に施策の
対象者は異なり、
必要とする支援も
異なることから、
結婚出産から
定住までの
切れ目のない支援を
体系づけることにより、
効果的な施策展開を
図っていきます。

結婚出産から定住まで切れ目のない支援



■結果

社会保障・人口問題研究所推計と人口の将来展望



これまでにない横串の取組を全市的に実行

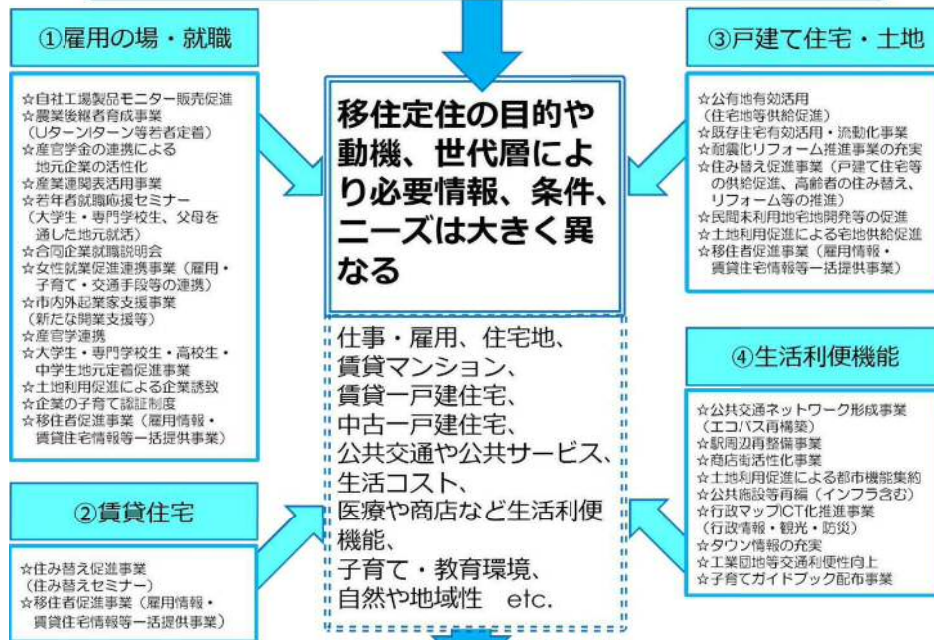
(1) 若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策

今後も遊休地等を活用した宅地供給による転入者増を図るとともに、高齢者の住み替えによる既存住宅の活用や流動化事業を進め、さらには若年層のニーズにある賃貸住宅供給も促進するなど、宅地や既存住宅の循環、連携を推進することにより、出生率の増や人口の社会増を目指すこととします。

若者世代を中心としたニーズに対応する横断的施策 ～アンケート調査、イベント等での直接ヒアリング等から～

若者・若年ファミリー層の移住・定住の動機や目的

進学、転職・仕事、住宅購入、えにわに「住みたい」(U・Iターン含む)



宅地供給から中古住宅リフォーム・供給までの連動した住宅政策、雇用の場確保から拡大、そこに通う交通手段、幅広い生活利便機能の維持向上など横断的施策と一括した情報提供

若者世代の定住・転入者増、出生率向上の実現

(2) 交流人口増による幅広い地域産業活性化

道央圏264万人の日帰り観光をメインターゲットとし、本市の特色や地域性である「花のまちのイメージ」や農産物、自然景観など良好な地域資源を活用することで、交流人口を増やし、さらには経済波及効果を拡大させ、幅広い地域産業の活性化を図り、雇用の増などへ結び付けていくことを目指します。

交流人口増による幅広い地域産業活性化

